

佐藤渡辺

長く活躍できる職場構築 女性技術者と役員が意見交換

佐藤渡辺は9月26、27の両日、女性技術者による安全パトロールと役員との意見交換会を実施した。安全パトロールには、女性技術者9人や堂尻伸二工事本部安全環境部長らが参加し、東京都江東区海の森で施工している「東京港臨港道路（南北線）中央防波堤内側地区舗装等工事」（発注者＝国土交通省関東地

方整備局東京港湾事務所）の現場を視察した。27日に本社で実施した役員との意見交換会には石井直孝社長や池田政人専務らも出席し、忌憚（きたん）のない意見を交わした。写真。



について実態を把握した上で、対策やアドバイスを得ることを目的としている。参加者は、舗装工事が進む現場の様子などを視察した。

役員との意見交換会では、「会社への要望」「今後挑戦してみたいこと」「女性技術者が入社しやすく定着しやすい環境とは」などのアンケート回答を基に意見を交換した。

冒頭、あいさつに立った石井社長は「コロナ禍で4年ぶりの開催となったが、皆さんや今後入社する女性社員が働きやすい職場環境をつくるため、忌憚のない意見を出してもらって、職場環境の改善に努めたい」と呼び掛けた。

参加した女性技術者からは、抱えている悩み、日ごろ職場で課題だと感じている点、今後の人材確保に向けたアイデアなどや、「今後もZoomなどを使用して、意見交換ができる場がほしい」といった要望も寄せられ、役員側も真摯（しんし）に受け止めた。

終了後、参加者からは「意見を取り入れようとする考えや女性技術者を増やしていくことする意思があることが理解できた」「女性社員に残ってほしいという思いが伝わった」などの感想が寄せられた。今後も意見交換会を実施する予定で、池田専務は「結婚や出産などを経ても長く活躍できる環境・職場を必ず構築するので、一緒に考えていきたい」と述べた。

